

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2. 3	施設に立ち寄られる方は限定され、新しく立ち寄られるようになった方は殆どいない。食材を極力地元より購入しているが、これも限定的。「介護教室」・「認知症サポーター講座」等の実施も検討中だが、実現に至らず、地域への働き掛けが弱い。	老若男女を問わず、気軽に立ち寄って頂ける施設を目指すと共に、少しでも今以上の地域貢献ができる施設でありたい。	散歩時に於ける挨拶の徹底等、職員・ご入居者が地元の方と、ごく自然に交流が図れる働き掛けを行っていききたい。また、講座の実現・地域の行事への参加を進めていききたい。	12ヶ月
2	13. 14	本社研修・支社研修・施設内研修の受講と共に、外部研修の紹介等を行い、職員の育成に努めているが、その場限りの勉強になり、実際の業務上に反映されていない。他事業所との交流等、刺激になるようなネットワーク作りも弱い。	実際の業務に反映できるような身になる研修の受講により、職員の育成を図りたい。また、他事業所との交流等により、良い意味でのより多くの刺激を受けて欲しい。	研修レポートの提出・チェック・面談などにより、勉強した知識をどのように生かすか、常勤・パート共々考えていききたい。他事業所との連絡を密にし、交流機会を増大し、多くの刺激を受けて貰いたい。	12ヶ月
3	33	ターミナルケア・看取り等に関する知識・考え方等、(当然であると思うが、)個人々々バラバラで、統一性が見られず、施設としての対応方法が一定しない。	施設としての知識・考え方(個人々々ではない)の統一・共有をはかり、対応方法を一定し、ブレがないようにしたい。	今回、1/28にご逝去された方がいらっしゃり、ご家族と何度も話し合い、その結果を文書の形にして配布、ミーティングにての意思統一を図り、大変に良い看取りができた。この経験を次にも生かすべく、デスクカンファ・話し合いにより、より一層の徹底を図りたい。	2ヶ月
4	35	人員の問題もあるが、消防訓練等実際に即した訓練があまりできていない。災害時のフローチャート等、分かりやすいツールも不十分と考える。	災害・緊急時に、実際に動けるような体制作りを行っていききたい。	防火管理者を中心とし、実際の災害を想定・シミュレーションした訓練を行い、有事に対応できる体制作りを行いたい。また、現在できていない夜間の対応方法を記したフローチャートを作成し、周知徹底、慌てずに対応できる環境作りに努めたい。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。